

自己点検・自己評価報告書

平成 29 年 3 月 31 日現在

I S I ランゲージスクール

平成 29 年 3 月 31 日作成

目 次

第 1 設置者及びマネジメント	1	6-1 法令の順守	22
基準 1 理念・教育目標	1	第 2 運営に関する事項	23
1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか	2	基準 7 運営全般	23
1-2 教育目標が明確に定められているか	3	7-1 組織的な運営	24
1-3 学校の将来構想を抱いているか	4	7-2 納付金	26
1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか	5	7-3 情報の共有化及び発信	27
基準 2 組織	6	基準 8 学生募集	28
2-1 組織体制	7	8-1 募集方針	29
2-2 教員組織	8	8-2 募集活動	30
2-3 事務組織	9	8-3 入学選考	32
2-4 採用と育成	10	基準 9 教育活動	33
基準 3 財務	11	9-1 教育計画	34
3-1 財務状況	12	9-2 実施	36
基準 4 教育環境	13	9-3 成績判定	39
4-1 校地・校舎	14	9-4 授業評価	40
4-2 施設・設備	15	基準 10 学生支援	41
基準 5 安全・危機管理	18	10-1 支援体制	42
5-1 健康・衛生	19	10-2 日本社会を理解し、適応するための支援	43
5-2 危機管理	20	10-3 生活面における支援	44
基準 6 法令の順守等	21	10-4 進路に関する支援	46
		10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援	48
		基準 11 教育成果	50

11-1	成果の判定	51
11-2	卒業生の状況の把握.....	52

第 1 設置者及びマネジメント

基準 1 理念・教育目標

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>●ISI グループの理念 「私たちは、グローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と国際社会の発展に貢献します」</p> <p>●ISI の教育方針 【国際理解を深める教育——国際力】 世界各国の学生との異文化交流で「国際交流」を深め、グローバルに活躍できる人材を育てます。</p> <p>【理解と納得の日本語教育——日本語コミュニケーション力】 目的に合わせ「読む・聞く・書く・話す」の技能と関連付けながら日本語運用能力を総合的に高めます。</p> <p>【社会人としての総合的な力を高める教育——人間力】 社会や企業の中で自立した一人の社会人として力強く生きていくための総合的な力「人間力」を学びます。</p> <p>●本校の特色は何といても在校生の多様化にある。平成 29 年 3 月 30 日現在、54 か国から約 1300 名の学生を受け入れており、このグローバルな環境を活かして日本語コミュニケーション力の養成を行い、社会に貢献する人材の育成を実現できる点が第一の特色である。</p> <p>●本校の将来構想は、学習者と社会の幅広いニーズに応えるための学校運営をめざし、入口から出口を一貫した理念で経営していく方針である。また大学・大学院・専門学校、企業との連携を深め、より高い次元でのグローバル人材育成教育機関を目指した将来構想を持っている。</p>	<p>●ISI ランゲージスクールの歩み</p> <p>【第一フェーズ】 2006 年、東京ランゲージスクール本校の経営譲渡を受け、東京では 2 校目となる日本語学校「ISI ランゲージスクール」を移転開校。定員 360 名からのスタートとなった。非適正校の状態を継ぎ、受け入れ学生の国籍改革、学生選抜、コースカリキュラムの見直しを行った。</p> <p>【第二フェーズ】 翌年には適正校通知を受け、多くの学生が入学を希望する学校へ成長。2009 年より定員を 460 名に増員し、受け入れ国籍は 30 か国を超える多国籍化に成功。</p> <p>【第三フェーズ】 2010 年、校舎を高田馬場（現校舎）へ移転し、2011 年定員を 560 名に増員。教育内容も多様なニーズに対応できるよう、選択授業を開始し進学・非進学にも対応する内容に変更。</p> <p>【第四フェーズ】 2014 年定員を 990 名に増員。校舎を増設し、教室には電子黒板等の設備を設置。ICT 教育の取り組みにも挑戦を開始。</p> <p>【第五フェーズ】 2015 年定員を 1346 名に増員。校舎のフロアを増設し、教室のほか、カウンセリングブースや学生用 PC 増設などの対応により教育環境の充実を図った。今回の自己点検・自己評価を実施し、さらなるレベルアップを質・量ともに図れるよう中長期ビジョンを策定している。</p>

最終更新日付	2017 年 3 月 31 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

1-1 理念・目的・育成人材像などが明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められている。	教育理念・育成人材像がホームページや設置者の企業概要にも明記されている。	非常勤講師及び非正規雇用の職員においては理解及び定着が完全ではないので、契約時の周知が必要。	学校案内書 ホームページ
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	5	具体的に実現に向けた計画を立案・実施している。	2015年度からの中期ビジョン戦略MAPで戦略目標・数値目標を達成するためのKPIを確立し毎月進捗を確認している。	KPIの定期的な進捗確認と目標数値の見直し。	2015年－2017年度中期計画
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	5	理念・目的・行動指針は普遍的なテーマであり、中期戦略において、時代のニーズに合わせた内容になっているか見直しをしている。	3年ごとに設定する中期ビジョンを基に戦略MAP・BSCを作成している。	時代のニーズだけでなく、入管法の変更や社会情勢の変化も常に敏感な学校運営が必要。	2015年－2017年度中期計画
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	5	教職員に周知・公表されている。	教職員には学内に会社の理念が記載された額を掲示しており、学外にはホームページで広く公表している。	HPは日本語のほか、一部の言語対応可能となっており、全世界に発信するためには、更なる他言語による発進が必須。	会社概要 ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISIの理念・目的・育成人材像は職場内にも掲示しているほか、社員証とともに携帯しており職員が就業中も意識できるようになっている。また具体的なアクションのための「行動指針」もカードに記載されており、職員がISI理念を意識しながら業務を遂行できるようになっている。	HPではISIの理念などが主要言語で公表されているが、現在30か国以上の国籍の学生が在籍しているものの一部の言語には対応が追いついていない。また通常業務に追われ中期計画が遅れがちになるため、進捗管理の徹底が必要である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

1-2 教育目標が明確に定められているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-2-1 学校の特色として挙げられるものがあるか	5	「グローバル人材育成」を理念として謳っているとおり、国際色豊かな学習環境の下で、教育活動及び人材育成が行なわれている。	50 を超える国から外国留学生を受け入れ、国籍バランスも考慮しながら教育活動及び異文化交流に日々努めている。	大学・大学院の進学率アップはもとより、近年の留学目的の多様化に伴い、柔軟性に富んだカリキュラム構築が課題である。	学校案内 ホームページ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校には 50 カ国以上の国籍・地域からの留学生を受け入れており、日本語学習のみならず異文化交流にも力を入れている。また来年度からは「コンピテンシー概念」をコースカリキュラムの導入し、社会に通用する日本語能力を習得できるようなシステムに改善予定である。	従来の日本語教育（文法積み上げ方式）と評価方法の見直しの時期に来ていると感じている。社会で通用する日本語習得の教育概念として「コンピテンシー概念」の導入を検討中である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-3-1 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	時代・社会の変化に合わせた中期ビジョンを3年ごとに策定している。	学校では3年ごとに中期ビジョン及び戦略MAPを策定し、KPI・個人目標を明確にしている。	近年の留学目的の多様化に伴い、柔軟性に富んだ戦略が課題である。	2015年～2017年度中期計画

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
たとえ中期ビジョンを計画し業務に落とし込んでいても、日本語学校は国際情勢・景気動向・通貨変動などに運営を大きく影響されるため、常に社会情勢について注視しながら、学生募集・学校運営を続けていく必要がある。	政府の方針に加えて、昨今の円高傾向及び外国人のインバウンド消費の影響で外国人留学生の数は増え続けているが、受け入れ側の課題として「教育の質の維持」「学習者の質の向上」が必須である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

1-4 理念と教育目標が教職員、学生に周知されているか

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
1-4-1 学校運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	学校運営方針は教職員に明示され伝わっている。	中期計画がサーバーに保存され職員は閲覧可能になっており、会議でも共有されている。入学案内やHPにも運営方針が公表されている。	運営方針に変更が生じた際、柔軟な対応ができるような仕組みが必要。	2015-2017年度中期計画

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学校運営方針は教職員にとって業務の指針であり、常に念頭において業務にあたるべきである。また、職員が運営方針を正しく理解することで自然にこの学校で学ぶ留学生にも伝わるはずだと考える。	日本語学校運営は社会情勢や経済変動に大きく影響を受けるため、方針については社会の変化に柔軟に対応できるよう見直しや改善が行い、変更された場合は速やかに校内共有、明示しなければならない。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 2 組織

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>本校の組織体制は入国管理局及び日本語教育振興協会の基準要件を満たしており、事業規模に応じた組織体制になっている。</p> <p>校長を始め主任教員など教員組織も基準要件を満たした職員を採用・配置しておりそれぞれの職務内容や権限が明確に定められている。</p> <p>教務に関しては、通常の授業運営のほか重要業務を「進路」「コース開発」「研修」など3グループに分けてグループごとに教務主任の下、運営及び改善に取り組んでいる。同時に「業務分担表」の管理で業務が一部の職員集中しないよう業務配分・管理されており、同時に OJT ができるような仕組みになっている。</p> <p>事務組織では、入管業務の担当や生活指導責任者を明確し定めなければならないが、昨年度は新入社員が職員の大半をしめ、基本業務の習得に終わる1年となってしまったため、今後の課題となっている。</p> <p>入管申請取次者は校長を始め3名おり、随時ビザ更新や入管手続きを行っており、防火防災管理者も消防署の指導の下、設置している。</p> <p>採用制度も管理部によって明確に定められており、職務規定も整備されている。昇進昇格制度も企業レベルで定められており賃金制度も定期的に見直しがされている。</p> <p>学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているが、ISIグループ校の異動も以前より多くなりチーフ・主任レベルの育成が急務である。</p>	<p>本校は1300名以上の学生を管理しており、100名を超える非常勤講師が指導に当たっており、勤務管理をしている。ISIグループの組織体制はもはや企業レベルではあるものの、非常勤講師の評価制度は整備段階で完璧とはいえない。</p> <p>昨今の日本語業界の「売り手市場」傾向でもわかるように、日本語教師の安定確保と育成は各日本語学校の課題であり、頭の痛いところでもある。しかし、教育の質を落とさないためにも質の高い講師の確保は肝要であり、そのための賃金制度や人事評価制度の改善が急がれる。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

2-1 組織体制

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-1-1 設置代表者及び 経営担当は基準要件に 適合しているか	5	設置代表者及び経営担当は 日振協及び入管の基準要件 に適合している。	前述のとおり	特になし	入管・日振協提出の教職 員リスト
2-1-2 事業規模に応じ た組織体制になっている か	4	事業規模に応じた組織体制 になっている。	本社と学校現場で役割を分 担して行っている。	本校は大規模校のため、組織 体制だけでは限界があるた め、学校の規模に合わせた仕 組みづくりが必要。	人事組織図
2-1-3 受入れする学生 の言語対応可能な組織 になっているか	4	受入れする学生の言語対応 可能な組織になっている。	中国・韓国・英語・ベトナム 語対応可能な職員が勤務し ているほか、本社にロシア・ スペイン語対応の職員が いる。	一部の少数の言語対応（トル コ・ウズベキスタンなど）が 追いついていない。	人事組織図

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISI 日本語学校においては、経営基準や組織体制は企業レベルであるといえ、かなり整備されており、教育現場としての体制も確立していると言える。よいサービスを顧客に提供するためには、磐石な組織体制が不可欠である。	学校運営においては組織体制も重要だが、大規模校のため、人的配置だけでは限界があり、大規模校に耐えうるシステム作成や効率化が不可欠である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

2-2 教員組織

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-2-1 校長、主任教員及び教員は基準要件を備えているか	4	入管で定められた基準要件を満たした教員を採用・配置している。	日振協に教員リスト及び履歴書・証明書などを提出している。	平成 30 年度に向け、専任教員の補充が必要。	日振協提出書類 入管提出書類
2-2-2 校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められているか	4	校長、主任教員、専任教員及び非常勤教員の職務内容及び責任と権限が明確に定められている。	校長及び主任教員に関しては、人事評価の一次、二次評価者としての責務、また稟議などの承認者としての権限が細かく定義されている。非常勤に関しては、マニュアル及び人事評価表に職務内容が明記されている。	今後「准社員（准専任）」の職務内容及び権限などの整備が必要。	非常勤講師マニュアル 職務基準書 人事評価表 AF システム
2-2-3 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	4	職務分掌表で教職員一人一人の職務分掌が明確になっている。	職務分掌表をファイルサーバーに保存し、常に確認できるようにしている。	大規模校のため、職員の能力だけに頼らず、業務手順マニュアル化でだれでも担当可能にする必要がある。	業務分掌表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
(株)アイ・エス・アイ全体で組織体制が明確に区分・整備されており、本校も事務局・教務・教務事務の3部門において、職務権限・責務などが明確に定められ、それに従い業務に従事している。	今後採用が増える予定の「准専任」の職務内容と権限を整備しなければならない。また、業務の平準化を進め個人の能力に頼らず体制的にだれでも業務の担当が可能になるシステムを講じる必要がある。 また主任レベルの職員の育成が課題となる。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

阿保 京子

2-3 事務組織

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-3-1 生活指導責任者、入管事務担当者等を含む各業務の担当者が特定され、その職務内容及び責任と権限、承認プロセスが明確に定められているか	3	各業務の各担当は管理者・作業者に分けて担当者が特定されている。業務マニュアルが用意されているが、まだ全てを網羅しきれていない部分がある。	一部業務において、マニュアルが完備されていない業務もある。	マニュアルの作成、可視化。	日振協提出書類 業務マニュアル 電子申請承認ルート
2-3-2 各業務の担当者が学生及び教職員に周知されているか	4	教職員には業務分担表により周知している。学生に対しては、必要に応じて周知されている。	教職員に対しては左記の通り。	特になし	業務分担表
2-3-3 入管申請取次者、防火防災管理者を設置しているか	3	入管申請取次者、防火防災管理者を設置している。	入管申請取次者講習の受講及び入管への届出の実施。防火防災管理者講習の受講と管轄消防署への届出。	別館の防火防災管理者が未登録。	入管申請取次証 防火防災管理者手帳
2-3-4 職務分掌と責任がステージごとに明確にされているか	5	職務分掌と責任がステージごとに明確にされている。	人事評価制度により左記が明確に設定されている。	特になし	職務基準書 人事評価表

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
各業務の各担当は管理者・作業者に分けて担当者が特定されており、その職務内容は全てではないものの業務マニュアルが整備されつつある。また、入管申請取次者、防火防災管理者の設置もされている。	各業務の職務内容を可視化する作業を進めており、完成すればより職務内容が明確化される。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

2-4 採用と育成

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
2-4-1 教職員の採用制度は整備されているか	4	教職員の採用制度は整備されている。	管理部人事において採用に関する手続きなどしっかり管理されており求める人材などはHPに公開している。	採用方法の簡略化・効率化。	HP 採用ページ
2-4-2 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	3	今年度においては、教職員の退職・産休などがあり、確保に支障があったが、育成に関しては実施されている。	事務局の産休2名、教務2名退職があった。 外部研修のほかOJTが計画に沿って実施されている。	教職員の離職率を下げるべく、勤務環境の整備を進める。	人材育成計画（管理部）
2-4-3 人事評価制度は整備されているか	4	人事評価制度は整備されている。	人事評価制度はグループウェアで社員はいつでも閲覧可能であり、定期的に見直しをしている。	非常勤講師の評価制度はまだ整備段階で完璧とはいえない。	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制度
2-4-4 昇進昇格制度は整備されているか	5	昇進昇格制度は整備されている。	昇進昇格制度はグループウェアで社員がいつでも閲覧可能であり、定期的に見直しをしている。	特になし	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制度
2-4-5 賃金制度は整備されているか	5	賃金制度は整備されている。	給与規定はグループウェアで社員がいつでも閲覧可能であり、定期的に見直しをしている。	特になし	人事評価規定 給与規定 非常勤講師報酬制度

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
ISI グループの人事評価および賃金制度は労働基準法に遵守した制度となっており、十分整備されている。またグループウェアでも人事規定が閲覧可能となっており透明性がある。	非常勤講師の評価制度の一部見直しが必要なため、グループ校で改善点について協議が必要である。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

阿保 京子

基準 3 財務

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>設置法人である株式会社アイ・エス・アイはもとより、本校においても、安定した学校運営により財務も安定している。</p> <p>毎年予算決算など予実乖離分析報告を計画的に実施しており、予算修正が必要な場合は迅速に対処している。また HP でも取引銀行や資本金を公開している。</p> <p>会計事務所に会計監査を委託しており、適正な収支管理と責任体制が明確になっている。</p>	<p>本校は 2015 年に定員数 1346 名に増員後、在校生の卒業予想が困難になっており、新入生の受け入れ枠の予測と安定した収支計画の妨げとなっているため、安定した運営のために、在校生の予想数の精度を上げる必要があると考える。</p>

最終更新日付	2017 年 3 月 31 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

3-1 財務状況

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
3-1-1 中長期的に学校の財務は安定しているといえるか	4	学校運営の財政の基盤は「学生の納付金・諸手数料」に因るため、学生数に影響されるものの、近年入学希望者は増えており、安定しているといえる。	代理店のみならず、窓口でも入学相談を受けており、大きく教室数の変動なく稼働している。	今後の安定した学校運営のために入学者の安定確保と正しい収支計画が課題である。	決算書
3-1-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	本校の予算及び収支計画については、毎年度において有効かつ妥当なものとなっている。	年度予算案の報告のほか、毎月予実乖離分析をしており、収支を明確に把握している。		予算案 予実乖離分析報告
3-1-3 財務について会計監査が適正に行われているか	4	会計監査は適正が行なわれている。	前述のとおり。		会計監査報告書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校の財務については、会計監査は専門家によって適正に行なわれており、責任体制も明確である。また監査の実施スケジュールもしっかり構築されている。	特になし

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 4 教育環境

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>高田馬場はアカデミックな学生の街であり、交通アクセスもよくロケーションとしては適切である。</p> <p>斬新なデザインで清潔感のある校舎は外部業者による毎日 2 回の清掃が行き届いており、入り口の車いすレーンやエレベータ、教室のレールのない引き戸などバリアフリー対策も施工されている。非常口や防火ドアなどの防災対策も整備しており、入管法で定められた学校設備などの基準は適合している。</p> <p>本校では近年 I S I グループ全体の取り組みとして、「ICT 教育」対応の環境整備にも力を入れている。電子黒板やプロジェクターが使用できる教室の増設のほか、ICT 仕様の学習机や椅子も昨年度は 80 脚購入しアクティブラーニング授業に活用している。</p> <p>また校内には自由に使えるスペースのほか、カフェや喫煙エリアも設置されており、学生へのサービス向上につながっている。</p> <p>大規模校対策として、事務受付窓口と教務室が本館 1 階と 6 階、別館 1 階に設けることで学生対応が三箇所で開催されており、受付業務や相談窓口が集中しないように工夫されている。</p> <p>1300 名以上の学生が在籍する校舎は防災体制については、設備だけでなく東日本大震災を経験から学んだ防災意識を池袋防災館見学などで外国人留学生にも浸透させている。</p>	<p>法令上は教育環境の基準を十分満たしているものの、学生数増加に対し、「トイレ」の改善、「保存文書などの保管スペース」の確保が不十分といえる。特にトイレは使い方の問題で故障やトラブルも多く、個数の問題以前に学生への使い方のルールについての案内や注意を丁寧に指導する必要がある。</p> <p>メンテナンス管理のための管財担当が常駐していないため、共有施設などの修繕・交換などの対応が遅くなり、利用者に不自由させていることは大きな問題である。</p>

最終更新日付	2017 年 3 月 31 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

4-1 校地・校舎

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-1-1 教育機関として適切な位置環境にあるか	5	教育機関として適切な位置環境にある。	高田馬場は早稲田大学・東京富士大学のほか専門学校も多く若者の町で健全な環境と言える。	特になし	HP 学校パンフレット
4-1-2 安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されているか	4	安定的に教育活動を継続するための校地校舎が整備されている。	校舎が賃貸ではあるが、20年以上安定した運営が継続されており、HPにも校内写真等が公開されている。	基準は満たしているが、トイレなど共有施設の改善が必要。	HP 学校パンフレット
4-1-3 校舎面積は基準に適合しているか	4	校舎面積は基準に適合している。	日振協及び入国管理局への提出書類に校舎面積や図面が記載されている。	学生が自由に使用できるスペースの確保。	校舎図面
4-1-4 防災に対する体制は整備されているか	4	防災に対する体制は整備されている。	防火・防災管理者によって体制図・避難経路・備蓄が整備されており、年1回の避難訓練が実施されている。	体制図・避難経路・備蓄の更新。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
校地・校舎は入国管理局の基準に適合しており、位置環境も含め教育環境はかなり進んでいるといえる。また防災に関しても避難訓練実施や備蓄管理など総合的に体制管理できている。	施設・設備の更新やメンテナンス管理のための管財担当が常駐していないため、修繕・交換などが現場で判断・処理できないことが対応の遅れに影響している。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

4-2 施設・設備

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
4-2-1 教室・その他施設は基準に適合しているか	5	日振協の实地審査に合格しているため、適合していると判断している。	日振協の实地審査に合格している。	施設の定期的な点検を実施する必要がある。	日振協提出書類
4-2-2 教室内は十分な照度があり換気がなされているか	4	照度は問題がないが、換気は十分でない場合がある。	日振協の实地審査に合格しているので基準には適合しているが、換気については教室の位置等によって教室間の差がある。	照明器具や換気設備の定期的点検を行い、教室担当者が窓やドアの開閉を適切に行う。	校舎図面
4-2-3 すべての教室は、教育上必要な遮音性が確保されているか	4	一部を除いて、必要な遮音性が確保されていると判断している。	日振協の实地審査に合格している。	大教室に対応可能な教室の仕切りがパーテーションになっているため遮音性が弱いので、より確実な防音対策を行う。	特になし
4-2-4 授業時間外に自習できるスペースが十分確保されているか	4	十分な自習スペースが確保されている。	2フロアに1箇所自習スペースが確保されている。図書室、自習室、リフレッシュルームなど、多様なスペースが確保されている。	学生数に応じ、さらにスペースの確保を検討。	校舎図面
4-2-5 教育、学生数に応じた図書やメディアが整備され、利用できる環境になっているか	4	図書は基準を満たしている。学生用PC、wi-fi環境が整備されている。	図書：日振協の基準冊数を満たしている 学生用PC：6台 wi-fi環境：全校舎	学生数に応じ、さらに数の確保と環境の整備が必要。また図書は貸し出し制度を今後検討していく必要あり。	日本語教育関係図書の蔵書目録

4-2-6 視聴覚教材やICT教育の設備が整備されているか	4	授業用 PC、電子黒板、プロジェクター、書画カメラ、テレビ、DVD が整備されている。	電子黒板：8台 プロジェクター：3台 書画カメラ：2台 テレビ：5台 DVD：5台	学生数に応じ、さらに整備が必要。	ICT 設備リスト
4-2-7 教職員の執務に必要なスペースは確保されているか	4	教職員の執務に必要なスペースが確保されていると判断している。	教職員室が3箇所設置されており、出勤人数分のスペースが確保されている。	教職員の増員に応じ、什器の配置、収納スペースの確保等で、さらにスペースを確保。	校舎図面
4-2-8 学生数に応じたトイレが設置されているか	3	建物の基準に応じたトイレは設置されているが、学生数に比べると不足している。	日振協の現地審査には合格しているが、授業の休憩時間が決まっているため、学生使用の時間帯が集中する。	学生数に応じ、トイレの増設・整備が必要である。	校舎図面
4-2-9 法令上必要な設備等が備えられているか	5	日振協の現地審査に合格しているため、適合していると判断している。	日振協の現地審査に合格している。	常に法令と照らし合わせ、確認する必要がある。	日振協提出書類
4-2-10 廊下、階段等は、緊急時に危険のない形上であるか	5	日振協の現地審査に合格しているため、適合していると判断している。	日振協の現地審査に合格している。また、組織内に衛生委員会があり、建物内の危険箇所を確認し合う機会を設けている。	定期点検や避難訓練を通じ、危険な箇所を継続的に確認する必要がある。	日振協提出書類 校舎図面
4-2-11 バリアフリー対策が施されているか	4	バリアフリー対策が施されている。	エレベーター・スロープ、フルフラット仕様が整備されている。	一部の建物はバリアフリー対策が追いついていないため、整備が必要。	校舎図面

4-2-12 校内の清掃状況は管理が行き届いているか	4	校内の清掃状況は管理が行き届いている。	委託の清掃業者が毎日清掃を行っており、年2回の学生満足度アンケートで高評価を得ている。	細部の清掃（窓のサッシや電球等）は日常的にカバーしきれていないため今後の課題ではある。	学生満足度アンケート結果 清掃業者との契約書
----------------------------	---	---------------------	---	---	---------------------------

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
施設・設備は日振協の基準に合格しており、教育上の必要性に対応している。施設・整備のメンテナンスは外部業者に委託し、定期的に行っている。また、ICT対応の教育機器の整備も進めているが、Wifi環境の整備には課題が多い。	学生数や教育環境の変化に応じ、スペース、教育機器、図書等の継続的な整備が必要である。また、遮音性、トイレの増設などの検討も要である。Wifi環境の向上は現在進めている。

最終更新日付	2017年4月17日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 5 安全・危機管理

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>本校は留学生が安心して日本語学習に取り組めるよう、危機管理の見直しを重ねてきた。</p> <p>特に、2013年の東日本大震災後、災害時の危機管理に関しては、行政の方針・指導のもと整備・強化している。学生の健康保険加入の指導や結核発生時の対応などマニュアル化されている。</p> <p>本校は4期制のため、年1回の避難訓練では不十分との声も現場から出ていることを受け、オプションイベントとして池袋消防署内の「防災館」見学を実施しており外国人にも防災意識を高めてもらおうと取り組んでいる。</p> <p>他にも危機管理に対する心構えを職員や学生に周知徹底するべく、災害を想定した避難訓練や職員のAED講習も毎年実施している。防災用品の備蓄も更新を行ったばかりである。</p> <p>危機管理には「人の安全」だけでなく「情報データの安全」も含まれているため、今後被災時の情報管理にも整備が必要であり、本社からの指示のもと、災害時の事業継続対応の計画を進めている。</p>	<p>大規模校である本校では1300名を超える外国人留学生と70名を超える職員が平日勤務しているため、非常時の対策・対応の時間にスピードが求められる。</p> <p>自然災害時の休校の判断基準・伝達の方法がグループ校や学校の規模で異なり、統一されていないため、平準化あるいは学校長の権限の明確化が課題になっている。</p> <p>本校では外国人留学生の増加に伴い2年連続「結核発症者あるいは保菌者」が出ているため、伝染予防対策が急務である。保健所などの行政と東京結核予防会や医療機関など民間団体と連携して学生が健全な留学生活が送れるよう、予防対策を講じる必要がある。</p> <p>国の医療サポートとして国民健康保険加入が留学生にも義務付けられているが、「自分は健康だから大丈夫」と過信する外国人も多く、実際に高額治療が発生した事例などを用いて必要性について理解させ、加入・保険費納付を促すことが重要である。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

5-1 健康・衛生

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-1-1 学生の健康管理を担う組織体制があり、機能しているか	3	保健室と常備薬の設置のほか、毎年新宿区保健所主催の結核健診受診及び校内で検診車を使用した健診を実施しており校内にはAEDを設置している。	前述のとおり	結核予防以外健康診断は任意となっており、将来的には校内で実施が望ましい。	特になし
5-1-2 学生全員が適切な健康保険に加入しているか	4	留学ビザ保有者は全員国保に加入させている。	入学時に国民健康保険証をコピーし、未加入者に加入するよう指導を行っている。	国内での事故では怪我の治療費だけでなく賠償責任も発生するケースがあるため、国保でカバーできない保険の加入も検討中。	国民健康保険証のコピー
5-1-3 感染症発生時の措置を定めているか	3	結核など法定伝染病が発生した場合の対応については、連携が必要な関係機関の連絡先や報告書が文書化されている。	前述のとおり	現在マニュアルを作成中。	マニュアル（作成中）

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
毎年定期的に健康診断を実施しており健康管理の体制は整っているものの、公的機関に依存した健診であり、校内実施のものは補助的なものにとどまっている。国民健康保険の加入は義務づけているが、傷害保険・損害保険などの加入は任意であるため、総括的な支援体制には至っていない。	近年、身体的な問題を抱える学生よりメンタル面のサポートが必要な留学生が増加していることを考えると、今後心理カウンセラーの資格を有する人材雇用を検討すべきである。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

5-2 危機管理

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
5-2-1 危機管理体制が整備されている	3	危機管理体制は整備されつつある。	避難訓練の実施（年1回） AED訓練の実施（年1回） 防災館見学の実施（年数回）	学生数職員数に対して実施回数が少ない。複数回実施するなど検討の余地がある。	避難訓練マニュアル 災害対策携帯カード
5-2-2 火災・地震・台風等の災害発生時の避難方法、避難経路、避難場所を定めているか	4	避難方法・避難経路・避難場所は定められている。	年に1回の避難訓練の際に避難方法や経路、避難場所について確認している。	4期制のため、年1度の避難訓練では十分とは言えず、訓練後入学の学生へのフォローが必須。	避難訓練マニュアル
5-2-3 気象警報が発令された場合の措置を定めているか	3	その時の気象状況に応じて校長が判断。	前述のとおり	〇時時点での警報によって開校休校を決定するなど明確な指標を定めるかどうか課題。またその告知方法。	職員緊急連絡網
5-2-4 災害等に対する避難訓練を定期的に実施しているか	5	年に一度、管轄の警察署・消防署・区役所・公園事務所の協力で避難訓練及び消火活動体験を実施している。	前述のとおり	実際の災害にどこまで沿った内容で避難訓練を計画するかが課題。	避難訓練マニュアル 実施報告
5-2-5 防災用品が備蓄されているか	4	避難時のヘルメット・脱出用工具・ラジオのほか、災害用の備蓄（水・食料・防寒具）を校内に格納してある。	前述のとおり	期限がくる食品などの処分方法。	防災用品購入リスト 備蓄リスト

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
3.11以降、防災用品や食料・水の備蓄を進め、指定避難場所まで全学生を引率しての避難訓練を実施。消防署にもご協力いただき、消火訓練や耐震車による地震体験も行った。危機管理体制は次第に整備されてきているといえる。	4期制を取っているため、年1回の避難訓練では行き届かない部分もあり、不足する部分をどのように補っていくかが今後の課題。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 6 法令の順守等

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>法令の遵守においては、株式会社アイ・エス・アイとしても非常に意識をしている部分である。</p> <p>本校は 1984 年に日本語教育振興協会に認可を得て開校以来、「適正な設置基準及び学校運営がされている」と定期的な実地検査でも認められている。個人情報の取り扱いに関しては、ISI グループ全体の重要方針として、「個人情報を適切に取り扱い、保護することが極めて重要である」と深く認識している。</p> <p>そのため、重要書類の保管方法を職員に厳守させ、不要な文書はシュレッダーを利用、定期的な保管文書整理では溶解処分を業者に委託しており徹底した個人情報保護に努めている。</p> <p>また入学時に「個人情報取り扱いに関する同意書」を学生に署名してもらい、学校の学生情報の取り扱いの対策を講じている。</p> <p>自己点検・自己評価に関しては、日本語教育機関の学校評価が義務化されたこともあり、今年度初めての試みである。学校運営を担う立場として今まで着手できなかったことは猛省すべき点である。日ごろの業務・方針などを改めて点検・評価することで課題が浮き彫りになり、ひいては本校の発展につながるものであることを肝に銘じ、今後も真摯に取り組んでいきたい。</p>	<p>個人情報の保護に関しては、対策もさることながら、職員の意識づけが肝要であり、新入社員研修では強化すべき項目と考える。</p> <p>また、学生数の増加により取り扱い方法や保管方法が粗雑になりがちのため、定期的な啓発活動と同時に不定期なチェック体制を導入すべきと考える。現在 SL(スクールリーダー)に膨大な学生の情報がデータ管理されているが、閲覧権限の設定はあるものの、セキュリティ管理の強化が求められる。</p>

最終更新日付	2017 年 3 月 31 日	記載責任者	阿保 京子
---------------	-----------------	--------------	-------

6-1 法令の順守

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
6-1-1 法令、設置基準等の順守と適正な運営がされているか	5	法令、設置基準等の順守と適正な運営がされている	日振協や東京入管の審査基準を遵守しており、検査も通っている	新基準に適合しているか見直しが必要	特になし
6-1-2 個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	3	個人情報保護のための対策は行っているが、不十分な部分もある。	不要な文書はシュレッダーや溶解処分を実施。学籍簿等は全て扉付きキャビネットや金庫にて保管。	扉に鍵を付ける等より厳重な管理を行うことも検討	特になし
6-1-3 入管・日振協・関係官庁への届け出、報告を滞りなく行っているか	5	届出、報告は滞りなく実施されている。	前述のとおり	特になし	受入の開始、終了報告など（入管） 定期報告など（日振協）
6-1-4 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	2	2年前から自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めてきたが、問題点の洗い出しに留まっており、改善が遅れている	前述のとおり	自己点検の継続と今後は問題点の改善にも努める	特になし
6-1-5 自己点検・自己評価の結果は公開しているか	1	2015年度までは公開していない	前述のとおり	2016年度からHP公開のために内容整備をする	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
本校は法令、設置基準等を順守し、適正な運営がなされているが、自己点検・自己評価の実施と公開においてはまだ実現できておらず不足していた。	今回の自己点検・自己評価の定期的な実施により、改善を図っていきたい。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

第2 運営に関する事項

基準7 運営全般

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>基準1「教育理念・目標」の項目でも述べているとおり、本校はISIグループの一員として中長期の運営方針と経営目標が経営者より提示された後、日本語学校としての運営方針や事業計画を年度初めに発表している。そのための管理運営の諸規定や意思決定システムは整備されており、予算も管理運営されている。</p> <p>とはいえ、社会的な動向や国の政策方針などで学生数も流動的に変化する業界であるため、短期・中期のビジョンの見直しや業務改善を定期的に取り組みながら学校を運営する必要がある。また膨大なデータ情報の管理システムを更新し効率的に学校運営を図らなければならない。</p> <p>納付金に関しては、学生に配布する学則、代理店に配布する募集要項に記載されており、納付期日についても、入学時のオリエンテーションでの説明と年間スケジュールに載せており、学生が経費支弁者に期日について説明できるようになっている。納付期日一週間前には事務局員が納付予定を学生の個別に対応し管理をしている。</p> <p>学費返金規定も関係諸法令に基づき、学則に記載されているとおりに対応に当たっている。</p> <p>グループウェアの有効活用で情報共有は効率的にできており、外部主催の研修にも参加して入管や行政関連の新情報を入手するようにしている。</p> <p>入学希望者や在籍者に対する情報発信ではHP、パンフレットのほか、言語対応可能なスタッフが常駐している。</p>	<p>2015年に1346名の大規模校と成長し、今後も成長を続けるためには堅固な基盤とシステム化が不可欠である。 教職員が増え、担当セクションが細分化すると意思決定システムも複雑になり、対応の遅れに繋がり、ひいては事故になることも踏まえ、効率的な運営の仕組みを講じなければならない。</p> <p>また組織の中では、単独作業の場合に人的ミスや課題に気づかないまま業務が行われてしまうこともあり、適正な運営維持のためのチェック機能の見直しと管理体制強化の施策を講じなければならない。</p> <p>今年はHPのリニューアルや各言語別のパンフレットの改定など、入学希望者への学校アピールにも力を注いでいるが、まだ十分とはいえなため、今後も企画広報と連携しニーズに応える情報発信を続けていきたい。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

7-1 組織的な運営

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-1-1 短期及び中長期の運営方針と経営目標が明確化され、教職員に周知されているか	4	短期及び中長期の運営方針と経営目標は毎年明確化され、教職員に周知されている。	中長期に関しては、年度初めに戦略 MAP で明確にし、短期方針に関しては、毎月主任会議で明確にしたものを全体会議で共有している。	特になし	中期ビジョン 戦略 MAP 中期 BSC KPI
7-1-2 管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされているか	3	管理運営の諸規定が整備され、規定に基づいた運営がなされている。	前述のとおり	学校規模の拡大後も規定が更新されておらず現状に適合していないルールが問題となっているため、改善が肝要である。	グループ諸規定集
7-1-3 意思決定システムは確立されているか	4	意思決定システムは確立されている。	毎週開催の定例会議のほか、主任会議等で重要事項を協議し、校長の承認を得るというシステムがある。	緊急時などの意思決定のスピード化が必要である。	承認ルート表
7-1-4 予算編成が適切になされ、執行ルールが明確であるか	4	予算編成が適切になされ、執行ルールが明確である。	年度初めに予算表を各学校で提出し本社及び会計事務所で確認している。毎月の入出金なども稟議申請で管理している。	特になし	予算表
7-1-5 業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われているか	3	業務の見直し及び効率的な運用の検討が定期的、かつ、組織的に行われている。	毎学期業務分担を含め、内容の見直し・効率化を行なっている。	大規模化対応のシステム強化と管理体制の文書化が必要である。	特になし
7-1-6 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	情報システム化等による業務の効率化が図られている。	SL やグループウェアの他に勤務管理システムなど様々なシステムを学校業務に活用している。	大規模化対応のシステム強化。SLの機能限界に伴い、クラウド型の管理システム構築を進める。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>毎月主任レベルの会議を開催し情報共有、問題の早期解決に努めている。 ISI グループでも、毎月日本語学校責任者及び本社幹部と「運営会議」を開催しており、運営状況の報告や相談案件について討議しており、組織的な学校運営をしている。</p>	<p>1300 名以上の学生が在籍している本校では大規模化に耐えうるシステム構築、業務の効率化が急務である。 また諸規定は整備されているが、更新しなければならない項目も少なくない。</p>

最終更新日付	2017 年 3 月 31 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

7-2 納付金

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-2-1 検定料、入学金、授業料及びその他納付金の金額及び納付期日が明示されているか	5	納付金額は学則、HP、募集要項に、納付期日は年間スケジュールに明示されている。	前述のとおり	特になし	学則 HP 募集要項 年間スケジュール
7-2-2 学費以外に入学後必ず必要になる費用が明示されているか	5	学費以外に必ず必要になる費用は明示されている。	証明書代金は証明書発行依頼書に明記されている。 ビザ更新時に必要な印紙代は在留期間更新許可申請に必要な書類のお知らせに明記されている。	特になし	証明書発行依頼書 在留期間更新許可申請に必要な書類のお知らせ
7-2-3 関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されているか	5	関係諸法令に基づいた学費返還規定が定められ、公開されている。	学則に返金規定が明記されている。	特になし	学則 募集要項

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学費等、学校で必要な費用は明示されており、返金規定も学則や募集要項に明示されている。	返金規定は新たに学則に明示されるようになったが、職員の解釈に誤解が生じないようなケースでの返金を想定し、的確に学生に説明ができるようにする必要がある。また、学生からのニーズも多い学費のカード払いも今後検討していきたい。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

7-3 情報の共有化及び発信

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
7-3-1 外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがあるか	5	外部の情報を積極的に入手し経営に生かす仕組みがある。	日振協など外部団体の維持会員となり会報などで情報を入手して業務に反映させている。	特になし	特になし
7-3-2 内部の情報共有を効率的に行う仕組みがあるか	4	内部の情報共有を効率的に行う仕組みがある。	グループウェアでの情報共有に加え、毎週事務局会議・教務会議を開催している。緊急性の事案はスカイプやメールで共有している。	特になし	会議議事録
7-3-3 入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっているか	4	入学希望者・在籍者及び関係者が理解できる言語で、適切に情報提供をおこなっている。	中国語・韓国語・英語・ベトナム語対応可能なスタッフが事務局に常駐している。また本社にはスペイン語・ロシア語対応の職員もいる。HPも各主要言語に対応している。	一部の言語（トルコ・ウズベキスタン・モンゴルなど）の対応が必要。	職員名簿 HP パンフレット

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
グループウェアの有効活用で情報共有は効率的にできている。また、JaLSAや日振協などの研修・懇話会にも出来る限り出席し入管や行政関連の新情報を入手するようにしている。 入学希望者や在籍者に対する情報発信ではHP、パンフレットのほか、言語対応可能なスタッフが常駐している。	情報発信に関しては、主要言語は十分対応できているものの、英語や日本語が理解できない一部の少数言語の対応も必要になっている。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

阿保 京子

基準 8 学生募集

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>中国(大連)に直営事務所を開設し、東京には独自の入学受付の部署を持ち、東京と大連を拠点に入学選考を一括して行っている。入学希望者から提出された書類は、入学相談センターで一括して審査し、手続きを行っている。教育機関や留学紹介機関は信頼できる機関を厳選しており、代理店契約締結後に学生の受入れを開始している。</p> <p>学生受入れにあたっては、就学理由、日本語学習歴、日本語能力、経費支弁能力と学校の運営基準に照らし合わせ、教育理念を理解し、勉学意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を分け隔てなく世界の様々な国・地域から受け入れている。</p> <p>常に教育の質的向上を図り、学生の満足度を高めるためには、当校の教育理念を理解し、学習意欲や目的意識が高い学生を募集することが非常に重要であると認識している。</p> <p>他を寄せ付けない圧倒的な実績を上げることで本校のファン層を作り、安定した入学者数を毎年確保するために職員一丸となって日夜奮闘している。</p> <p>今後の課題としては、卒業生の活躍が募集にどう貢献したか客観的に測る尺度を持ち、経年対比ができる仕組みを作ることである。</p>	<p>学習者のニーズは年々多様化しており、目的にあった最適な教育環境提供のためには、コースごとの受入れ方針などの設定を検討する必要があると認識している。</p> <p>また、近年では早期の修了者やコース満了予定者が延長を希望する場合もあり、在籍人数の予測が年々難しくなっている。担当者は在籍数をリスト化し、入学希望者の募集のタイミングで最新の情報に更新し、適切な時期にミーティングで共有をしながら、総合的な在籍者数の管理をすることにより、募集定員の範囲内で安定的な募集活動を行っていく。</p> <p>学生募集では、独自の部署を持つことや、海外の募集拠点によって、実際に起きている教育現場の実態や学生のニーズの変化に遅れることなく、タイムリーに対応していかななくてはならない。募集担当者は常に最新の学校情報の把握に努め、コースやカリキュラムの深い内容理解まで、教職員のコミュニケーションを密に連携していく必要がある。</p>

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

高山 むつ実

8-1 募集方針

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-1-1 理念・教育目標に沿った学生の受入れ方針を定め、年間募集計画を策定しているか	4	多国籍の学習環境提供の方針のもと、国籍バランスを考慮しながらエリアと国別の計画を策定している。	前述のとおり	学習者のニーズの多様化に対応し、目的にあった最適な教育環境提供のためには、コースごとの受入れ方針などの設定を検討する必要がある。	事業計画 営業アクションプラン
8-1-2 募集定員の範囲で募集活動を行っているか	4	定員は関連法規に従い、適正に設定されており、その範囲内で募集活動を行っている。 在校生の修了者予測を入学期ごとに国別に設定し、募集人数を調整している。	「日本語学校教育施設在籍者数等現況報告書」にて実証済み。 入学者数	早期修了者やコース満了予定者が延長を希望する場合があります、在籍人数の予測が年々難しくなっている。 担当者は在籍数をリスト化し、入学希望者の募集のタイミングで最新の情報に更新し、適切な時期にミーティングで共有をしながら、総合的な在籍者数の管理が必要である。	事業計画 在校生定員予測 日本語学校教育施設在籍者数等現況報告書
8-1-3 募集担当職員は、学校の情報を正しく認識した上で、入学相談を行っているか	4	定期的な勉強会を開催し、新プログラムやコース内容の勉強会を実施している。	ファイルサーバー内 学校共有情報のまとめ	教育現場や学生ニーズの変化に対応するべく、募集担当者は常に最新の学校情報の把握に努め、コースやカリキュラムの内容理解まで更なる勉強会が必要である。	学則、募集要項、 学校案内パンフレット他

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
年間募集計画を策定し、定員の範囲内で募集活動を行っている。	受入れ方針の検討や在籍者数の管理が必要で、正しい情報を提供するには、定期的な情報共有や更なる細かいコミュニケーションをとっていく。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	高山 むつ実
--------	------------	-------	--------

8-2 募集活動

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-2-1 教育内容・教育成果を含む、最新かつ正確な学校情報が入学希望者の理解できる言語が開示されているか	4	正確な情報を多言語で開示している。(英語・簡体字・繁体字・西語・韓国語・露語等) パンフレットにより、モンゴル語、インドネシア語・タイ語で開示している。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット	教育成果の公表は、主に出口実績のみの公表となっているため、今後はさらなる情報開示を検討していきたい。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-2 求める学生像を明示しているか	2	入学選考の段階では勉学意欲や目的等を確認するが、求める学生像の明示は曖昧な点がある。	カリキュラムに学生像の設定を行っていない。	コースごとに育成する人材像を明確にし、求める学生像をホームページなどでも明示していきたい。	
8-2-3 応募資格及び条件を、入学希望者の理解できる言語で明示しているか	3	募集要項にて、各言語で明示している。	募集要項	主要言語では明記しているが、その他の言語では丁寧な説明が必要である。	募集要項
8-2-4 募集活動を行う国・地域の法令を順守した募集活動を行っているか	4	企業理念に則り、法令遵守を徹底している。	代理店契約書の内容を説明し、適正な募集活動を遂行していただいている。	海外の代理店が当校をどのように紹介しているか、詳細の確認をしきれない国もあり、そのあたりの今後の徹底は課題である。	代理店契約書

8-2-5 海外の代理店等に、最新かつ正確な情報提供を行っているか	3	最新情報はホームページやパンフレットやチラシによって提供し、定期的な出張訪問やSkype によって直接説明を行っている。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット	情報が古いままや、間違った情報が流出しないよう定期的に代理店を訪問、説明し、ホームページや営業資料を確認していく必要がある。	学校ホームページ 募集要項 学校案内パンフレット
8-2-6 海外の代理店等の行う募集活動が、適切に行われていることを把握しているか	3	新規エリアや全代理店の募集活動の把握は難しい。	出張計画（出張報告・訪問記録）	定期訪問と担当者との密なコミュニケーションにより把握していく。	出張報告書

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生受入れにあたっては、就学理由、日本語学習歴、日本語能力、経費支弁能力と学校の運営基準に照らし合わせ、教育理念を理解し、勉学意欲が強く、日本語学習に対して明確な目標を持つ学生を分け隔てなく世界の様々な国・地域から受け入れている。</p> <p>中国(大連)に直営事務所を開設し、東京には独自の部署を持ち、東京と大連を拠点に入学選考を一括して行っている。入学希望者から提出された書類は、入学相談センターで一括して審査し、手続きを行っている。教育機関や留学紹介機関は信頼できる機関を厳選しており、代理店契約締結後に学生の受入れを開始している。</p> <p>入学希望者に配布する募集要項では入学条件を明記しており、ホームページでは学校の教育成果、留学している学生のリアルな姿として、在校生の成長の過程や卒業生の進路や活躍を学内に掲示し、またWebサイトやSNSで発信することで、国内はもちろん、海外からでも十分に学校生活をイメージでき、入学後のミスマッチが起らないように心がけている。</p>	<p>8-2-2: 求める学生像はホームページなどでも明確に明示することで、適切な学生の受入れを行うことができる。</p> <p>8-2-3: 受入れ学生の主要言語では情報を明示しているが、その他の言語では誤解がないよう丁寧な説明が必要である。</p> <p>8-2-6: 海外の代理店や教育機関の取引数が多いため、全ての情報の確認が難しいのが現実的にある。情報が古いままであったり、間違った情報が流出しないよう、定期的に代理店に説明し、代理店のホームページや営業資料を確認していく必要がある。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	高山 むつ実
--------	------------	-------	--------

8-3 入学選考

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
8-3-1 入学選考基準及び方法が明示されているか	5	選考基準を募集要項で明記している。	前述の通り	国・エリアにより選考基準が公平とは言い難い。	募集要項 ホームページ
8-3-2 学生情報を正確に把握し、提出書類により信憑性の確認を行っているか	4	共有のファイルサーバーに入学選考に関するデータベースを保存し、提出書類は複数のスタッフで母国語も含め確認を行っている。	前述の通り	対応できない言語では日本語の翻訳の添付をつけさせ、現地での公証をさせている。	事実確認書
8-3-3 入学選考を行う体制が整備されているか	5	入学希望者とは母国語または英語にて、専属スタッフが入学選考を行っている。	前述の通り	日本での大学進学資格に必要な12年教育制度ではない国からの希望者には準備教育が提供できない。	面接シート
8-3-4 受け入れるコースの教育内容が、志願者の学習ニーズと合致することを確認しているか	4	各種媒体における就職、資格取得等の教育成果に関する情報公開は、まだ不足していると思われる。	前述の通り	就職、資格取得等の教育成果に関する情報の媒体別掲載内容、情報量などの適正な取り扱いについて、社会情勢、環境を考慮して検討する。	HP 就学理由書 面接シート

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生選考は現地に赴いての直接面接やSkypeを用いた面接を行い、学校の基準にのっとり必ず学校職員が行っている。これら面接の結果と提出された申請書類から総合的に入学選考をするため、学生の目的意識を第一に、支弁能力、勉学意欲を中心に基準を設けている。その後も現地と密に連絡・訪問を繰り返し、安心して入学できるようサポートを継続している。特に中国には現地事務所を置き、より綿密に入学希望者、保護者とコミュニケーションができるようにしている。また共有のサーバーに入学選考に関するデータを保存し、入学選考に関する情報を正確に把握している。</p>	<p>特に東京では入学希望者が多いため、入学選考には細心の注意を払っている。書類審査では経費支弁能力があるかどうか厳格に審査し、筆記試験では授業についていける学力があるかどうか適正かつ公平な基準で選考している。面接では志望理由が明確かどうか、願書や履歴書など記載内容お相違がないかを確認し、書類の信憑性と希望者本人の勉学意欲両方をみている。不法滞在や不法残留を多く発生させている国については、特に厳格な選考基準を設け、質の高い学生の確保に努めている。</p>

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

高山 むつ実

基準 9 教育活動

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>日本語学校の使命は留学生が希望している進路（出口）まで指導及びサポートをすることであり、語学力の養成はもとより大学や専門学校あるいは企業の求める人材育成であると考え。その考えは、「私たちはグローバル人材育成のための教育環境の創造を通じて、人々の夢の実現と交際社会の発展に貢献します」という ISI 理念にも明確にされている。</p> <p>いかなる留学目的の学生でも満足していただけるようなクラス作り・コース運営を理想として本校は授業・サービスを提供している。例えば、一流大学合格を目標とした「特進クラス」、JLPT 対策、コミュニケーション能力向上、キャリアサポートなど目的別で学習できる「選択授業」など通常授業で補えない学習の機会を提供している。授業内容に関する相談・苦情についても教務主任が状況を判断し適切に対処している。</p> <p>入学時はインタビューと筆記試験により学生一人一人の進路希望とレベルを確認し、初級から超級クラスまで必ず学習者のレベルに適合したクラスで学習できる環境になっている。</p> <p>授業は教育内容に応じて教材を決め、電子黒板やプロジェクターを使用した ICT 教育の本格導入に向け準備を始めており、電子黒板の有効活用や学習効果を高めるための勉強会も定期的開催し非常勤講師に啓発している。</p> <p>成績判定方法については、近年大学で取り入れ始めているコンピテンス概念に基づいた総合判定導入に向け、カリキュラム再編も視野に入れた成績表の新フォーマットの策定について 2 年を目途に行う予定である。</p>	<p>本校のコース設定は理念・教育目標に合致した仕組みではあるが、学生のニーズの多様化に伴い、JLPT 新基準など外部試験のレベル設定だけでは対応が難しくなっている。その問題の解決案として、昨年度より CEFR の評価指標と JLPT・EJU などを連動したカリキュラム再編に向けてグループ校でも取り組みを始めており評価方法の見直しも課題となった。とはいえ、一流大学においては留学生の人間性やコミュニケーション力以上に高い日本語力（知識）が要求されていることは周知の事実である。</p> <p>今後、多様化に合わせクラス編成も大きく変える必要も出てくると考えている。進路目的別にクラス開講することも視野に入れ、画期的なクラス編成と目的別のシラバスでの授業設定を考えなければならない時期に来ている。</p> <p>年 2 回の学生満足度アンケートで授業評価を実施しており、教育力向上に努めているが、100 名以上の指導経験も様々な教師陣の授業の質の平準化が課題となっている。そのため、非常勤マニュアルのほか、本校では計画的な「研修システム」を昨年度より導入しており、年間スケジュールに沿って、レベル別指導研修と担任研修など特殊研修も含めた研修会を定期的開催している。</p>

最終更新日付

2017 年 3 月 31 日

記載責任者

阿保 京子

9-1 教育計画

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-1-1 理念・教育目標に合致したコース設定が行われているか	5	理念・教育目標に合致したコース設定が行われている。	会社の理念に則り、グローバル人材育成のためのコース設定がされている。	学生のニーズの変化に合わせて、コースの見直しを定期的に行う必要がある。	学校案内パンフレット ホームページ
9-1-2 教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされているか	4	教育目標達成に向けた教育内容、教育方法及び進度設計がなされている。	学生のニーズに応じたコース設定とレベルに応じた 40 以上のクラス設定がなされている。	学生のニーズの変化に合わせて、教育内容の見直しを定期的に行う必要がある。	学校案内パンフレット 入管提出書類
9-1-3 レベル設定に当たっては、国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしているか	4	国内でまた国際的に認知されている熟達度の枠組みを参考にしている。	JLPT 新基準をベースにしてレベル設定を行っている。	JLPT 新基準の他に、CEFR などの枠組みを取り入れたレベル設定を検討中。	学校案内パンフレット 入管提出書類
9-1-4 教育内容及び教育方法について、教員間で共通理解が得られているか	4	教員間で共通理解が得られている。	定期的に研修を行い、指導マニュアルを作成して周知している。	100 名を超える教員の共通理解を得るために、指導マニュアルのさらなる改定が必要である。	研修資料 指導マニュアル
9-1-5 カリキュラムは体系的に編成されているか	3	カリキュラムは体系的に編成されている。	学習目的に合わせて、JLPT の新基準も踏まえつつ、初級から上級まで体系的に整備されている。	初級から超級まで一貫したカリキュラムの整備を実行中。	学校案内パンフレット 年間カリキュラム
9-1-6 教育目標に合致した教材は選定されているか	4	教育目標に合致した教材が選定されている。	コースの目的に沿って、教務で十分に検証された教材を選定しており、教材変更は導入計画をたてて行っている。	教材情報を定期的に更新し、学生のニーズに合った教材選定を常に行っていく。	学校案内パンフレット

9-1-7 補助教材、生教材を使用する場合は、出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	3	補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにし、著作権法に留意しているが、周知徹底は充分とは言えない。	著作権法に抵触する教材の使用は認めていないが、全教員共通のルールは未作成である。	教員全体に注意を促すルール策定が必要。	特になし
9-1-8 授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示しているか	4	授業に関する学習リソース及び情報を、授業開始までに教員に提示している。	学習リソース・情報は研修時や学期初めに担当教員に提示し、共有している。	100名を超える教員に漏れなく提示できているか、常に確認が必要である。	指導マニュアル
9-1-9 教員配置が適切になされているか	4	教員配置が適切になされている。	全教員の指導歴を把握し、指導可能なレベルに配置している。	定期的に研修を行い、全教員の指導歴を記録していく。	タイムテーブル 教員リスト

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
教育目標に合致したカリキュラムは、常に見直しと改定が必要であり、毎年部分的に実施している。100名を超える教員に対し、適切な教育方法の提示と配置が行えるよう、継続的な研修とリスト化を行っている。	時代や学生のニーズに合わせ、適切なカリキュラムや教材で授業が行えるよう整備を行っているが、時間とマンパワーが不足している実状がある。また、著作権法についてのルール策定は優先的課題となっている。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

9-2 実施

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-2-1 授業開始までに学生の能力を筆記試験等により判定し、適切なクラス編成を行っているか	4	適切なクラス編成を行っている。	入学時に全学生に対し、レベル別に測れる筆記試験と面接を実施し、客観的な評価により適切なクラス編成を行っている。	筆記試験の定期的な改定が必要である。また、学生のクラス変更希望に対する対応方法は今後検討の余地がある。	プレイスメントテスト 面接シート
9-2-2 教員に対して、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴その他指導に必要な情報を伝達しているか	4	必要な情報を伝達している。	クラス担任には、担当するクラスの学生の学習目的、編成試験の結果、学習歴などを伝達している。	クラス担任だけでなく、クラス担当教師全員に対し漏れなく情報共有が行えるよう、入学時の学生情報のデータ化を検討する。	プレイスメントテスト 進路調査票
9-2-3 決定したシラバスによって授業が行われているか	4	決定したシラバスによって授業が行われている。	決定したシラバスによってカリキュラムを作成しており、それをもとにスケジュールを作成している。	学生のニーズの変化に合わせて、シラバスの見直しを定期的に行う必要がある。	年間スケジュール レベル別スケジュール スケジュール
9-2-4 修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されているか	4	修了の要件が定められ、学生の理解できる言語によって明示されている。	学生規則にコース修了の要件が明記されており、オリエンテーションで確認されている。	在籍するすべての言語に対応できてはいない。	学生規則
9-2-5 教育内容に応じて教育用機器を活用しているか	4	教育内容に応じて教育用機器を活用している。	教育内容に応じ CD、DVD、電子黒板、PC などの教育用機器が活用できるよう、使用方法を周知し、管理している。	教育用機器がさらに活用できるように、機器の補充と研修を行っていく。	教育用機器使用マニュアル 教育用機器リスト

9-2-6 授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録しているか	5	授業記録簿及び出席簿を備え、正確に記録している。	クラスごとに授業記録簿と出席簿に毎日記入し、所定の場所で管理し、職員が閲覧できる状態になっている。	記入方法のルールを定期的に職員間で確認する。	出席簿 授業記録簿
9-2-7 理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われているか	5	理解度・到達度の確認が、適正な時期に行われている。	スケジュールに組み込まれたアチーブメントテストと定期テストにより、理解度・到達度を確認している。テストは共通のものを使用し、フォルダー内に保管されている。	テストの改定を定期的に行っていく。 また、到達度の確認方法の妥当性を検討中。	アチーブメントテスト 定期テスト
9-2-8 学生の自己評価を把握しているか	3	満足度アンケート結果において、学生の自己評価を行っている。	年2回実施している満足度アンケートに、自己評価の項目がある。	クラス内での自己評価の実施方法の検討要。	満足度アンケート結果
9-2-9 個別学習指導等の学習支援担当者が特定され、適切な指導・支援が行われているか	3	進路指導や授業内容のキャッチアップは、クラス担任が担当している。	クラス担任、副担任が特定されている。	個別な学習支援を行うシステムは確定されておらず、授業進度についていくことが困難な学生の支援は不十分である。	タイムテーブル
9-2-10 特定の支援を必要とする学習者に対して、その分野の専門家の助言を受けているか	2	進路指導に関しては助言を受けられる環境があるが、精神的な支援については助言を受けられる環境はない。	留学生活において経済的・精神的な支援を必要とする学生が増えているが、教員や事務職員のカウンセリングにとどまっている。	スクールカウンセラーなどの配置を検討する必要がある。	特になし
9-2-11 授業や運営に関する学生からの相談、苦情等の担当者が特定され、適切に対処しているか	4	担当者が特定され、適切に対処している。	クレーム対応の担当者が特定されており、適切に対応できている。さらに対応内容が個別指導表に記録され、職員に共有されている。	適切に対応するための OJT の実施と、職員間の情報共有に漏れがないようにすることが必要である。	学生指導内容報告カード 業務分担表

9-2-12 学習内容、時間割、成績等、教育に関する学生の留意点と、相談担当者が分かる文書を入学時に学生に配布しているか	4	一部の項目を除き、配布している。	入学時に配布する学生規則の中で、時間割、成績等、教育に関する学生の留意点については明記されている。	詳細な学習内容については配布ができていないので、要検討。	学生規則 学校紹介パンフレット
9-2-13 留学生活や入管法上の留意点と、それらに関する相談担当者が分かる文書を入学時に配布しているか	4	留学生活や入管法上の留意点と、それらに関する相談担当者が分かる文書を入学時に配布している。	入学時に言語別の学則配布・PPTを使用しオリエンテーションを実施している。	一部の言語（トルコ・モンゴル等）対応ができていない。	学則 警視庁発行の生活情報誌
9-2-14 JLPT、EJU の指導体制はあるか	5	JLPT、EJU の指導体制は整っている。	選択授業において、左記の試験対策のための授業を実施しており、結果もデータ管理している。	教員に対する指導方法の研究を定期的に行っていく。	選択授業スケジュール JLPT、EJU 結果データ

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
1000名を超える学生の管理が行き届くよう、出席簿、授業記録、オリエンテーション、プレースメントテストなどは年々改定を行い、実施も徹底されている。精神的な支援を求める学生の増加など近年新しい問題が生まれ、大規模校としての対応が課題となっている。	学生のクラス分け、到達度評価、苦情処理などがきめ細やかに行えるよう、マニュアルの整備と教職員のスキル向上の取り組みが必要である。また、現教職員では対応できない学生支援のために、心理カウンセラーなどの配置の検討が急務である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

9-3 成績判定

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-3-1 判定基準及び判定方法が明確に定められ、開示されているか	5	判定基準及び判定方法が明確に定められている。	日振協に成績判定基準を報告し、この基準に則った成績入力フォーマットを全てのクラスで使用している。	教師間に判定基準及び判定方法を漏れなく共有していく必要がある。	日振協提出書類 成績入力フォーマット 成績証明書
9-3-2 成績判定結果を的確に学生に伝えているか	2	成績判定結果は学生に伝えられている。	期末テストや模擬試験等のテスト結果は、学生に伝達されている。学生の希望に応じて、判定結果は成績証明書として学生に発行している。	成績判定結果を文書として学生全員に配布するにはいたっていないので、今後要検討。	成績証明書
9-3-3 判定基準及び判定方法の妥当性を定期的に検証しているか	3	検証している。	システムの改定に伴い検証を行った。	定期的に行っているとまではいえない。学生のニーズに合った判定方法を今後検討していく予定である。	成績システムの入力フォーマット

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
I S I グループ校共通の判定基準があり、入力フォーマット、成績入力システムが整備されている。希望する学生には学期末の成績を開示するが、全員に書面で伝えるまでには至っていない。	判定基準を全校で見直す時期にきている。カリキュラムに合わせ学生の能力をより細かく具体的に判定する方法の検討を行う予定である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

9-4 授業評価

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
9-4-1 授業評価を定期的に実施しているか	4	授業評価を定期的に行っている。毎年人事評価を行い、面談を通じてFBを行っている。	非常勤講師の定期研修のシステムがあり、授業評価を行っている。また、人事評価表により、評価を行っている。	全教員の公開授業及び評価の定期開催を検討していきたい。	研修スケジュール表 人事評価表
9-4-2 評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されているか	4	評価体制、評価方法及び評価基準が適切に定められ実施されている。	人事評価表の項目に従い、契約書に記載されている人事評価を基に適切に実施されている。	非常勤の授業評価を漏れなく適切に行うには、評価方法の改善が必要である。	人事評価表 研修評価表
9-4-3 学生による授業評価を定期的に実施しているか	4	学生による授業評価を定期的に実施している。	年2回全クラス、全職員を対象に実施している。	授業評価のアンケート項目を定期的に見直しているが、今後は専門科の意見を踏まえさらに改善していく。	学生アンケート
9-4-4 評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されているか	5	評価結果が教育内容や方法の改善、教員の教育能力向上等の取組みに反映されている。	学生アンケートを基に各教員に結果のフィードバックを行い、必要に応じた研修を実施している。	フィードバックや研修頻度を上げていく。	学生アンケート

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学生による授業評価は年に2回の満足度調査で行っており、内容も定期的に見直している。教員による授業評価は研修や人事評価を通して行っているが、100名を超える教員の適切な授業評価を100%完璧に行えているとは言えない。	教員間で授業見学を行い、授業を直接評価するなど、スキル向上につながるための評価体制見直しが必要である。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

阿保 京子

基準 10 学生支援

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>在校生が日本への留学目的を実現できるよう日本語学校は勉学・進路・生活・行政などあらゆる側面から支援をしなければならない。</p> <p>そのために、本校では事務・教務でそれぞれ学生のニーズに様々な支援計画を整備している。そのために、年 2 回実施する「学生満足度アンケート」で学生の不満や問題点を抽出して改善に努めており、KPI にも満足度 80 ポイント以上獲得が毎年達成目標として掲げられている。</p> <p>事務局においては、入学時に各国語によるオリエンテーションを実施して生活面・入管法など留学生活に支障がないようサポートしている。</p> <p>経済面のサポートとしては、アルバイト指導として面接練習や履歴書指導を定期的に行っており、住居面では直営寮や賃貸物件の紹介も行っている。毎年新宿区の結核検診に加え校内でも検診を実施しており、学生の健康管理も強化している。</p> <p>3 か月に一度実施する「学生個人情報調査」で留学生の生活の実態を把握し不法残留・不法就労をさせぬよう管理を徹底している。</p> <p>教務においては、進路担当者、年間の進路指導計画に沿って、進路指導を実施している。</p> <p>学生に進路に関する情報を提供すべく進学説明会を開催し、外部の進学相談会への動員にも取り組んでいる。</p> <p>また JLPT・EJU 対策も選択授業で開講しており、学生のレベルに合った学習指導が行われている。</p> <p>本校では、定期的な進路面談と「進路調査表」で進路希望を把握し、担当がしっかり学生の進路希望を把握してサポートしている。</p>	<p>入学時のオリエンテーションでは、PPT を使用し、ビジュアル的に日本のルールや生活マナーを指導しているが、対応言語が限られており、ウズベキスタン・トルコ・アラビア語など一部の少数の言語の対応が追い付いていない。学生数が多いため、基本的に休日の学生対応が実現していないので、安全管理面では大きな課題である。</p> <p>以前より学生の喫煙・違法駐輪などで近隣に迷惑をかけており、地域社会への貢献としてボランティアも今後は取り組みたいと考えている。</p> <p>進路指導面では、進路指導担当が特定され、マニュアルも整備されているが、大規模のため一人の常勤が 80 名以上の進路指導を担当しなければならず、手厚い指導ができているとは言えない。</p> <p>将来的には「進路指導室」という独立したセクションで「進路カウンセラー」の設置が肝要と思われる。</p>

最終更新日付

2017 年 3 月 31 日

記載責任者

阿保 京子

10-1 支援体制

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-1-1 学生支援計画を策定し、支援体制が整備されているか	4	学生支援計画を策定し、支援体制が整備されている。	全クラス担任、副担任制を導入し、年に4回個別面談を実施している。事務局では各言語対応できる体制を整え、有効に機能している。 アルバイトを希望する学生に対し、履歴書指導を行っている。	学生数が多いので、手薄にならないようより充実した支援体制を取ることが課題。	学生指導内容報告カード 個人情報調査票 履歴書指導資料
10-1-2 休日及び長期休暇中の学生対応はできているか	3	緊急時には必要に応じた対応を行っている。	緊急時には主に担任から上長に連絡が入る。	休日の緊急連絡体制は今後さらに検討していく。	特になし

* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
日本語学校にとって、留学生の支援体制の整備は語学指導の次に重要なミッションと受け止めている。留学生活のサポートを通して見えてくる情報は学生管理にも役立つと考えており、情報提供のために Facebook・HP・広報誌発行をはじめ、学生情報のデータ管理システムを確立し、卒業までサポートできる環境づくりに取り組んでいる。	学生数の増加と多国籍化により、支援スタイルの改革が求められている。また、緊急時には必要に応じて対応を行っているものの、休日の対応については十分とは言えず、検討の余地がある。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

10-2 日本社会を理解し、適応するための支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-2-1 入学直後のオリエンテーションを実施しているか	5	毎期入学時に新入生オリエンテーションを対応言語で実施している。	前述のとおり	一部の少数言語が未対応。	年間スケジュール
10-2-2 生活に関するオリエンテーションを実施しているか	4	オリエンテーションで各国語版の外国人在留マニュアルを使って説明している。また、外部団体による生活マナー講座を定期開催。	前述のとおり	居住地域によって異なるルールなどの説明ができない。	オリエン時配布資料 外国人在留マニュアル
10-2-3 地域の国際交流や、地域活動に参加しているか	3	授業に支障がない程度に地域の国際交流や、地域活動に参加している。	新宿区や中央区など地域団体主催の季節イベントや文化イベントをOPとして紹介し引率・参加している。	特になし	
10-2-4 地域社会に貢献する活動は行っているか	1	地域社会に貢献する活動は行っていない。	前述のとおり	日本事情の造詣を深め、地域の貢献と社会性を育むためにボランティア活動の実施を計画したい。	

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学時のオリエンテーションは対応言語を用いて新入生が確実に日本のマナーや規律について理解し生活に適応できるよう配慮している。またオリエンテーションの実施には外部団体にも協力してもらうことで、早くから日本社会と接する機会を提供している。	高田馬場にも町内会があり、地域に密着したイベントや活動に留学生を参加させたいという気持ちがあるが、まずは外国人に対する地域の理解を求めながら関係構築から始めたい。

最終更新日付

2017年3月31日

記載責任者

阿保 京子

10-3 生活面における支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-3-1 住居支援を行っているか	5	直営寮のほか、提携寮も通学圏内に所有しているほか、賃貸業者による校内相談会を定期的実施。	前述のとおり	特になし	HP 募集要項
10-3-2 アルバイトに関する指導及び支援を行っているか	5	アルバイト求人の案内・説明会のほか、履歴書の書き方指導や面接練習を実施している。	前述のとおり	特になし	履歴書指導PPT
10-3-3 交通事故等の相談体制が整備されているか	3	交通事故等の相談体制が整備されている。	設置者（株式会社アイ・エス・アイ）の顧問弁護士に相談できる体制になっており、校長も学生の保護者の代理として対応している。	自転車事故では加害者になるケースもあり、傷害保険加入も検討の余地あり。	
10-3-4 定期的に健康診断を実施しているか	4	毎年新宿区主催の結核健診受診及び校内で検診車を使用した健診を1回実施している。	前述のとおり	随時入学される短期生の健康診断の実施は徹底が難しい。	特になし
10-3-5 学生全体の生活状況について定期的に調査しているか	5	3ヶ月に1回「学生個人情報調査」を実施しており、住所・アルバイト・同居人などを更新して、同時にデータ管理もしている。	前述のとおり	特になし	学生個人情報調査表

10-3-6 その調査結果に対する裏付け確認は適正に行っているか	3	必要に応じて調査結果に対する裏付け確認を適正に行っている。	在留カードのチェックやアルバイト先への勤務状況の確認電話のほか、同居人の確認をしている。	日常業務に追われ全校生徒のアルバイト先への確認ができていない。	
----------------------------------	---	-------------------------------	--	---------------------------------	--

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
<p>学生が日本で安定した留学生活を送るためには、住居・健康管理・アルバイトなど多方面にわたる生活環境の保障が不可欠であり、学生管理の安定につながるため、健康診断の受診や状況把握のための生活調査実施など事務局・教務が連携して計画的に取り組んでいる。</p>	<p>短期入学の学生に関しては、国保加入ができない・資格外活動ができないなど、生活面の不安定さがあり、学校からのサポートにも限界がある。</p>

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

10-4 進路に関する支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-4-1 進路指導担当者が特定され、指導体制が有効に機能しているか	4	進路指導担当グループが特定され、このグループの指示のもとに時期ごとに学生指導を行っている。	大学院・大学・専門学校・就職に担当を細分化し、外部の関係機関への対応や進学情報の収集、発信を行っている。	教師や学生数が多いため、速やかな進路情報の共有ができていない。	業務分担表
10-4-2 学生の進路希望を把握し、指導担当者間で情報が共有されているか	3	学生との面談を通じて進路希望を把握し、指導担当者間で情報を共有しているが、規模が大きいため、共有できていない情報も多い。	進路調査、進路面談を定期的実施し、時系列で書かれた学生ごとの記録を文書で保管し、担当者すべてが閲覧できる。	大規模校であるにもかかわらず、紙ベースで管理している記録が多く、一層のデータベース化を推進する必要がある。	進路調査票
10-4-3 進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にあるか	4	進学、就職等の進路に関する最新の資料が備えられ、学生が閲覧できる状態にある。	図書室の一部、掲示板を進路資料スペースとし、学校案内等を自由に閲覧、持ち出しできる。	学生数に比べ、閲覧のスペースや資料が充分とはいえない。	大学・専門学校の募集要項・入学案内
10-4-4 入学時からの一貫した進路指導を行っているか	4	個々の学生の進路希望や学習状況は、進路調査票に集約されており、担当者が変更となっても入学時から一貫した進路指導が行えている。	入学時期に合わせ、定期的に学生と個人面談を実施し、学生の進路希望を把握し、担当者が変わっても必要に応じた指導を行っている。	最初歩からスタートした学生の、入学後すぐの進路指導体制に改善の余地がある。日本語で進路指導できるレベルに達していない学生への指導法を確立する必要がある。	進路情報シート

10-4-5 EJU、JLPT、BJT等の受験指導体制は整っているか	4	EJUの日本語と、JLPTの各レベルの対策については授業カリキュラムに組み込まれており、受験指導体制は整っている。	左記の対策の他に、学校で願書の購入受付、出願指導を行い、進路に合わせた試験の受験も促している。	EJUの日本語以外の科目授業の充実と、希望者が増えている就職希望者へのBJT対策授業の開講等も検討の余地がある。	年間試験スケジュール
10-4-6 大学学内試験対策の指導体制は整っているか	3	大学学内試験対策の随時、行っているが、まだ指導体制が完全に整っているとまでは評価できない。	一部の進学対策クラスや試験対策クラス内で実施しているが、全進学クラス内では実施できていない。	収集した大学学内試験がまだ分析、整理されておらず、教務として統一的な試験対策の方法が確立されていない。	授業カリキュラム
10-4-7 受験時、就職時の面談指導の体制は整っているか	3	各クラスの担任が責任をもって担当クラスの学生の面談指導を行っている他、就職希望者には就職クラス内で面接指導を行っている。	学校で作成した各種面接質問シートに基づき実施している。	就職希望者への、面接指導方法が確立しているとは言えず、専任間で共有されていない。	面接質問練習シート

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
学生の進路志望の多様化に応じるべく、入学から卒業まで一貫した進路指導体制の整備と指導者間の情報共有に努めている。また、EJU・JLPTの試験対策授業だけでなく、出願指導にも力を入れている。最新の進学資料を備え、学生が自主的に情報を得られる環境づくりを目指している。	学生数の増加により、現在の個人別進路指導データの管理に限界が生じているため、データベース管理の促進が大きな課題である。また、進学情報の更新を一元管理するなどの対策も必要である。教師向けの進学指導法の研修を予定している。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

10-5 入国・在留関係に関する指導及び支援

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
10-5-1 研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられているか	5	研修受講等により、最新の情報収集が出来る体制がとられている。	日振協協議会、交付に係る入管説明会等に参加し、最新情報の収集および部署内での情報共有を行っている。	特になし	研修、協議会等参加報告レポート
10-5-2 入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っているか	5	入管法上の留意点について、学生への伝達・指導等を定期的に行っている。	入学時のオリエンテーションを各国言語で実施。その他適宜校内掲示や配布物でも各国言語で伝達・指導を行っている。	特になし	オリエンテーション配布資料 説明用資料 資格外活動の際の注意事項 在留カード携帯義務（校内掲示物）
10-5-3 在留に関する学生の最新情報を、正確に把握し管理しているか	4	在留期限、一時帰国、修了者・退学者の進路等、在留に関する学生の最新情報を把握管理している。	SL による在留期限の管理。一時帰国者には一時帰国届出書により出国者の管理を行っている。修了者、卒業者の進路により、帰国確認の実施やビザ変更者の追跡確認、進学者の入学許可書の入手を行い管理している。	学生数が多く、卒業時など大量に学生が学校を離脱する際の確認作業が困難。	在留資格期間更新者リスト 退学者リスト 一時帰国届出書 出国時のチケット
10-5-4 在留上問題のある学生、及び問題になりえる学生の指導を個別に行っているか	4	出席不良者をはじめ、問題のある学生及び問題になりえる学生に関して個別面談を実施している。	まずは担任による指導を行い、教務主任、教務部長、校長と段階を踏んで個別指導を実施している。事務局員も同席し、通訳のみならず生活指導を行っている。	問題のある学生を漏れなく指導するシステム作り。	学生指導内容報告カード

10-5-5 不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っているか	4	不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないための取組みを、継続的に行っている。	入学時のオリエンテーション実施。 出席不良になりかかっている学生の情報共有を職員会議で行い、対応策を講じている。	問題のある学生を漏れなく指導するシステム作り。	学生指導内容報告カード 職員会議議事録
10-5-6 過去3年間、不法残留者、資格外活動違反者及び犯罪関与者を発生させていないか	3	完全にゼロではないものの、入管より3%未満の適正校通知を受けている。	前述のとおり	問題のある学生を漏れなく指導するシステム作り。	入管適正校通知
10-5-7 除籍、退学、修了、卒業で帰国予定となった学生の帰国確認を適時行い、それら出国確認の書類を適正に管理しているか	5	帰国確認の実施と帰国確認書類の管理を実施している。	修了、卒業時に証書とともに帰国後の案内を配布、説明している。学生帰国後にメールでリマインドを実施。その他電話確認、入管HPでの在留カード失効情報照会も活用。	様々な手段で連絡を講じても応答のない学生への対応。	帰国後のご案内 パスポート出国印、穴の開いた在留カードコピー（写真） 退学者リスト

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入国、在留関係に関する指導に関しては、最も教職員が注力している業務の一つとなっている。問題が起きる前にカウンセリングを重ねる指導を行い、常に最新の在留関係情報を得るため、協議会や研修に参加している。また、学生の入退学（卒業）の管理を適切に行い、適宜入管や日振協に受入報告や在籍者報告を実施している。	学生数が多いため、問題のある学生を漏らさず指導できるようなシステム構築や、効率の良い学生管理の方法の考案を目指していく。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

基準 1 1 教育成果

点検大項目総括	課題及び改善内容
<p>現在本校では、期末試験テストや JLPT 模擬試験などで学習者の成績の向上度を把握し、EJU など外部試験結果のデータ管理によって、授業カリキュラムに反映している。しかし、ISI 独自のデータ管理システムがないため、今年度は外部試験の結果と合格校との連動データ表の開発が事業計画に盛り込まれた。毎年のデータを蓄積することで S ランクの大学合格に必要な EJU のスコアや JLPT のレベルが見える化し、進路指導に役立てることができ、進学率向上を目指す。</p> <p>成績評価に関しては、近年の教育業界で主流となっている「コンピテンス」を導入し、知識の習得だけでなく社会適応能力なども含めた総合評価に改定しようとして今年度からカリキュラム改編に着手予定である。</p> <p>卒業時も卒業試験や進路結果によって適切な修了判定をしており、卒業生においては、卒業後の連絡先を退学届に記入、SL で管理しており、帰国確認やビザ変更確認をおこなっている。</p>	<p>卒業時に適切な修了判定をしているが、近年学習者の卒業後の進路が多様化しており、数値化された修了判定方法の見直しの検討の余地がある。その原因は以前に比べ、大学進学以外に就職希望の学生も増えており日本語能力だけでなく社会適応力や人間性も求められるようになったことである。言語知識を高めるだけの従来のカリキュラムでは測ることのできない「国際力」「人間力」を高めるために、グローバル社会で通用できる人材を育成するカリキュラムやシラバスの再構築が肝要となっている。</p> <p>また、卒業生その後の就職先や活躍の状況がわかる仕組にがないため、「同窓会組織」など、在校生だけでなく卒業生のネットワークの整備が求められている。</p>

最終更新日付	2017 年 4 月 17 日	記載責任者	阿保 京子
--------	-----------------	-------	-------

11-1 成果の判定

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-1-1 進路及び卒業・ 修了判定が適切に行わ れているか	4	適切に行われている。	期末テストおよび進路結果 により修了判定が行われて いる。	卒業・修了判定は在籍期間 や、就学期間にも基づき行わ れているが、より精度の高い 判定が実施できるための仕 組みづくりが必要。	期末テスト結果 修了届け 卒業・修了証
11-1-2 EJU、JLPT 等 の外部試験結果を把握 し、適切に管理されて いるか	4	適切に管理されている。	試験結果データは、そのつど 学生から回収コピーの上、デ ータ入力して保管している。	データベースでの管理は問 題ないが、回収したコピーの 管理方法に関しては改善の 余地がある。	EJU・JLPT 成績結果デ ータ

* 5..完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
入学試験の可否・入学許可証の有無、内定通知書、帰国チケットなど、卒業判定に必要な書類を漏れなく回収している。また、外部試験の願書、受験票、結果は全学生から回収し、保管している。	試験結果の数字はデータ管理しているが、結果票のコピーでの保管には限界があるので、保管方法には改善の余地がある。同じく、合格通知・入学許可証、内定通知書、帰国チケットなど、卒業判定に必要な書類のデータベース管理も一考すべきである。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

11-2 卒業生の状況の把握

点検小項目	*点検の 進み具合	ア 現状認識・評価等	イ アの根拠	ウ 課題とその解決方向	参考資料
11-2-1 卒業生の状況を把握するための取組みを行っているか	4	卒業生の卒業直後の状況を把握するための取組みを行っている。	卒業後の連絡先を把握し、必要に応じて帰国確認やビザ変更確認を行っている。	卒業の出口の把握はできているが、その後の就職先などを後追いでできていない。同窓会名簿など仕組みが肝要である。	進路データ
11-2-2 卒業後の進路を把握しているか	4	卒業後の進路を把握している。	退学届で卒業後の進路を確認し、入学許可書・雇用契約書・帰国チケット等を文書で保管し、全学生の進路を把握している。	一部卒業までに進路が決定しない学生の管理システムの対策を講じる必要がある。	退学届 入学許可書・雇用契約書・帰国チケット 進路データ
11-2-3 進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか	3	在校生の社会的活躍及び評価は把握しているが、卒業生の活躍や評価についてはなかなか把握できていないのが現状である。	前述のとおりである。	卒業生の活躍を把握するための仕組みがないので、同窓会組織等の整備が必要である。	特になし

* 5.完璧 4.かなり進んでいる 3.普通 2.やや足りない 1.ほとんど進んでいない NA.当てはまらない

総括	課題及び改善内容
卒業生の卒業直後の進路先や帰国状況の把握は、卒業判定とも合わせてほぼ実行できている。しかし、卒業後の動向や最終的な就職先などを後追いする仕組みは確立されていない。また、同窓会などは組織されていない。	卒業の出口の把握はできているが、その後の就職先などを後追いでできていないので、同窓会名簿などの整備を通じて、国際的に活躍する卒業生と在校生のパイプをつなげる改善策が必要である。

最終更新日付	2017年3月31日	記載責任者	阿保 京子
--------	------------	-------	-------

「出入国及び難民認定法」内の日本語教育機関の告示基準の改定により、日本語教育機関の「学校評価」が義務化されたことを受け、教育の質保証・向上に資するという観点から本校においても「学校自己点検・自己評価報告書」を作成した。

平成28年度の報告書に関しては、日本語教育振興協会の「日本語学校における学校評価ガイドライン」を参考に学内に設けた委員会で議論を重ねた結果、以上の通り自己点検・自己評価報告書を作成した。

ISIランゲージスクール自己点検・自己評価報告書を作成するにあたり学内に設けた委員会のメンバーは以下のとおりである。

平成29年3月

ISIランゲージスクール 自己点検・自己評価委員会

校長	阿保 京子
副事務局長	東野 梓
教務部長	岡部 かおり
教務主任	村岡 亮
教務主任	関根 真奈美
教務主任	堀 奈津子
事務局主任	曹 佳仙
入学相談センター部長	高山 むつ実